

# 2016.1.25 「消費者フェスタin 大分」

～消費者教育を通じて子供たちが身に付けていく力とは～



## デモンストレーション授業 「わたしたちの声が変える商品」

日本ヒープ協議会副代表理事の宮木由貴子さんが文部科学省の「消費者フェスタin大分」で  
中学2年生40名にデモンストレーション授業を行いました

- ◇日時 平成28年1月25日(月)9:50～16:20
- ◇会場 国立大学法人大分大学教育福祉科学部附属小学校・中学校
- ◇主催 文部科学省
- ◇共催 国立大学法人大分大学
- ◇協力 社会的責任に関する円卓会議
- ◇後援 消費者庁、大分県、大分県教育委員会、大分市、大分市教育委員会、日本消費者教育学会
- ◇参加者 教職員、教育委員会、消費者行政、保護者、企業・団体等から269名の参加

### ●日本ヒープ協議会が実施した授業内容

消費者が商品・サービスを購入して、疑問や不満を感じた場合、企業のよき理解者として声を上げることで、企業が商品・サービスを改善し、消費者はより良い商品・サービスを受けることができます。消費者の行動によって企業が変わり、社会が変わります。

一連の流れと企業の取り組みを、「お客様の声を活かした取り組み55事例」を基に、実際の商品なども用いて、生活・経済の視点から講義しました。一人ひとりが選択・判断能力のある消費者になることで、消費者市民社会の実現につながることを伝えました。

消費者と企業のコミュニケーションで  
何が変わるかについて考える

消費者と企業のコミュニケーションで  
何が変わるか？

